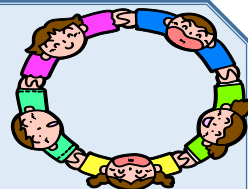


みんなそろって 輪になって

◇本年度の重点目標

考えをもち しっかり伝え、成長を喜び合える子どもの育成
笑顔いっぱい!!できた!わかった!がんばった!自信がついた!

第3号 令和4年6月23日



「つなぐ」ことの大切さ

校長 堀 江 充

5月下旬、堤さんのお宅の田んぼで5年生が田植え体験をさせていただきました。普段は見なれた田んぼですが、田に初めて足を踏み入れた時の感触、足をとられて尻もちをつき、ズボンが泥だらけにしてしまった、まだ冷たい用水で足を洗ったなど、初めての経験の連続でした。また、堤さんやJ A東神楽青年部の皆さんのお話で農業への感心や理解も深めていました。



この一つ一つの体験がきっと子どもたちの心に残っていくことでしょう。また、堤さんが、自らの経験を踏まえて勉強の大切さや働くことの意味、東神楽のよさも教えてくださいました。こうした皆様のご協力の上に東小は成り立っているのだということを実感させられました。

運動会も無事に開催できました。若干寒くはありましたが、どの児童も真剣に競技に向かう姿は立派でしたし、高学年の係活動やきびきびした動きはまさに「素敵なあこがれの先輩」でした。そんな後ろ姿をこれからも下の学年につないでいって欲しいと思います。



体力テストを時間差学年別で行いましたが、多くの保護者の皆様のお力添えのもとスムーズに測定を終えることができました。

きっと、例年のことなのかもしれませんが、こうした保護者のご協力は学校や児童にとってなによりもありがたいことです。



平成、令和と時代は変わり、コロナ禍の中、子どもたちを取り巻く環境や考え方は大きく変わりましたが、変わらない良さ・大切なことを私たち大人がしっかりと「つなぐ」ことがきっと子どもたちにとって重要なことだと私は思います。

運動会

6月4日(土)、天気予報は曇りでしたが、時折晴れ間が見える運動会日和となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2学年ずつ約50分、開会式・徒競走・団体種目(1・2年生は「大玉転がし」、3・4年生は「東小トルネード」5・6年生は「綱引き」)・紅白選手リレー・閉会式を行いました。また、ブロックごとに、頑張り宣言、見所紹介など表現する場もありました。高学年は、低学年、中学年の運動会でも係活動の仕事を責任もって行ったことで、スムーズな進行につながりました。今回の行事を通して、力を合わせて活動する楽しさ、あきらめないで最後まで力を出し切る、頑張っている人を応援する、自分の役割を果たす、より良くするために相談して改善する、自分の考えを表現する、健闘をたたえ合う等のことについて学びました。どの学年の子どもたちも一回り成長したと感じます。感染症対策に対してのご理解及び子どもたちへの心温まる応援ありがとうございました。また、PTA総務部の皆様には、車の出入りの誘導等でお世話になりました。



PTAによる環境整備作業

5月30日(月)、中館さん、鈴木敬子さん、杉山さん、松井さん、鈴木美洋子さん、尾崎さん、天野さん、工藤さん、佐藤裕太さん、野々瀬さん、吉原彰彦さん、鈴木かおりさん、倉増正志さん、森山さんに、松ぼっくり拾いとグラウンド側の窓ガラス拭きのお手伝いをいただきました。そのおかげで、きれいな環境になりました。ご支援ありがとうございました。



運動会のがんばりを見つけて

○同級生や他学年のがんばりを見つけて付箋に書き、廊下に掲示しました。各学年のよさを一部紹介します。

1年生～紅組の子も白組の子もがんばっているすごいね。

2年生～2年生が大玉ころころで、1年生をサポートできていてすごいね。

3年生～東小トルネードで、ここなら早くすすめるのじゃないかと意見を言ってくれてありがとうございます。

4年生～4年生がジャンプのやり方やコーンの回り方のアドバイスをしてくれた。

5年生～実行委員会の仕事を積極的に取り組んでいて、成功させてやろうという思いが伝わりました。

6年生～6年生は勝つためにどうするか、作戦を立てたりやっていた正し方が良かったところは正したり練習を頑張っていたのが良かったです。



校外学習

5月25日(水)、水田で5年生が田植えを体験しました。水田に入るのは初めてという子がほとんどでしたが、みんな目を輝かせて参加していました。CS堤さんとJA東神楽青年部の皆様にも教わりながら、ほぼ真っ直ぐ植えることができました。今は機械を使って田植えができますが、昔の人は田植えが全て手作業だったということを知り、大変さを実感するとともに昔の人のすごさを感じていました。



1年生のタブレット学習

6月13日(月)、1年生がロイロノートというアプリの基本的な使い方を6年生に教えてもらいました。テキストに指を使って文字を書いたり、撮影した写真を提出箱に入れたり、あっという間に操作を覚えていました。今後もタブレット活用の幅を広げていけるよう指導していきます。

